

国土交通大臣賞



福井駅付近連続立体交差事業

福井県土木部

事業概要

本事業は、福井駅を中心にJR北陸本線の延長約3.3km区間と、えちぜん鉄道の延長約3.0km区間の鉄道を高架化し、5か所の踏切廃止及び25路線の道路整備を行ったものである。同時に福井市施行の福井駅周辺地区画整理事業により駅前広場や幹線道路が整備された。これにより、福井駅周辺の交通の円滑化や交通結節機能の強化及び市街地の一体化が図られた。

表彰理由

北陸新幹線の計画具体化に伴い、当初事業計画案の見直しを余儀なくされる中、事業用地確保をはじめとする多くの困難を乗り越え、柔軟に対応した姿勢が素晴らしい。また、先行して完成した新幹線高架をえちぜん鉄道の仮線に利用すること（P2右上写真）で、仮線用地が不要となり、踏切除却と交差道路整備を3年間前倒しで完了するなど、事業効果の早期発現に向けた工夫も非常に高く評価された。連続立体交差による渋滞緩和の効果も高く、本事業に合わせて実施した区画整理事業による駅前広場の整備と路面電車乗り入れや自由通路・コンコースの整備等により、公共交通の利便性向上や交通結節点としての機能強化も実現している。再開発による駅前活性化や鉄道高架下の利活用なども含めて、新幹線開通後の地域のさらなる発展が期待される非常に優れた事業である。

事業延長：約6.3km
(JR北陸本線 約3.3km、えちぜん鉄道 約3.0km)
事業費：約686億円 事業期間：平成3年度～令和元年度

